

三条別院のご案内

MONTHLY NEWSLETTER FROM
SANJO-BETSUIN 2026. 1

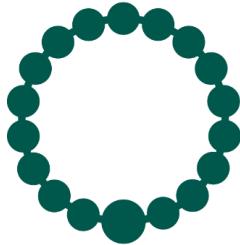
Tel 0256-33-0007 E-mail sanjo-betsuin@wing.ocn.ne.jp HP <https://sanjobetsuin.or.jp>

三条別院に想う

▲今回は 旧高田教区出身の比叡谷氏から寄稿いただきました。

比叡谷 紗誓 氏

(京都教区 近江第26組徳乗寺 大津別院列座)



御煤払い奉仕団が開催されました

【今月のトピック記事】

三条別院に最後にお参りさせて頂いたのは2007年の報恩講だった。高田の雅楽のお仲間と一緒に、私は三年ほど続けて寄せてもらった。初めて足を踏み入れたとき、何か、深い・遠いとすら感じたような気がするが、ただ本当に本堂の大きさに圧倒されたのかもしれない。

中越沖地震の後だったため、法要中に短い揺れがあった。輪灯が振れるのを見ながら、収まるのをただ願うしかできなかった。法要中に大きな地震が来たらどうするか、その場の判断で、回向に飛んでおつとめを終えることもあるかもしれない、と周りから聞かせてもらった。不測の事態の対処法を憶えておくことで、ほんの少しお勤め中の心構えになったと思う。

もともと実家の家族の会話には「べついん」がよく出てきて、車でちょっとの距離の高田別院に私自身はあまり身を運んだことがなくとも、子供の時分から親しみがあった。

お寺の跡継ぎと結婚し(“お寺に嫁いだ”わけではない!)、滋賀県に住まいするようになってから気付いたのは、県内にも隣の京都府にも別院はいくつもあるものの、車でも電車でもどこも一時間程かかる事。逆に言うとどこへも行けたので、機会を見つけては身を運んだ。所属寺に足が向かなかったその頃の私は、別院の本堂のような、誰もが座れる場を必要としていたのだと思う。そうやってお参りした長浜・五村別院でも多くの人と出遇わせてもらい、そして今は大津別院に奉職させて頂いている。

全国にある別院はそれぞれ由緒も歴史も違うが、その時その時代の人が何かを抱えながら身を置き、南無阿弥陀仏に出遇ってきた場だと思う。蓮如上人が仰っている「身をすべて、平座にて、みなと同坐(蓮如上人御一代記聞書)」する場になってきたなら本当に尊いことだ。立場を越え、老若男女の別なく、真に同朋平座がひらかれるよう、今の人、これから先の人のために、この場をつないでいきたい。それが、全国にいる、私たちのためではないだろうか。



○次回の「三条別院に想う」は、

堀川 慶樹 氏 (第16組淨專寺) よりご執筆いただきます。

1月 2月 ピックアップ



基本どなたでもお参りいただけます。
詳しくはホームページ及び案内チラシをご覧ください。
行事報告は基本はホームページで別院だよりでは不定期で行います。

▼定例法話

毎月 13 日闡如上人のご命日にあわせて定例法話会を開催しております。
いずれも 13 時 30 分から 14 時 30 分、その後 30 分ほど座談会
1月の定例法話会はお休みです。

▼御命日のつどい

照光 雅能 氏 (第 20 組照大寺) 「2 帳目第 14 通 (秘事法門)」
1 月 28 日 (水) 10 時から 12 時宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月 28 日
に「御命日のつどい」を本堂にて日中法要、その後旧御堂にて法話・座談会の場を開いております。

なお前日 (27 日) はお逮夜法要を 13 時 30 分よりお勤めしております。

◆会 場 三条別院 本堂・旧御堂

◆お勤め (御命日 日中法要)

文類偈 行四句目下

念佛讚 淘五

和讚 回口 次第六首

回向 願以此功德

▲『御文』2 帖目をテーマにしております。

▲10 時 30 分から 11 時 30 分まで法話。その後座談会を設けております。
講師を囲んで語り合いましょう。

◆今後の講師一覧

2 月 年頭会 藤懿信磨 (三条別院輪番)

1 年に 1 回、世話方・有志の会庭講・花講・お斎講・みんな集まって新年会をします。どなたでも参加できますので、ぜひご参加ください。

3 月以降は定例布教の講師が担当します。

その他の講座案内 & 隨時募集中

○別院声明教室

夜の部 (18 時～20 時) 昼の部 (15 時～17 時)

昼の部講師 別院列座 夜の部講師 倉井 光弥氏 (中越 11 組養泉寺)

2026 年 2 月 20 日 (金)・3 月 23 日 (月)・4 月 17 日 (金)

6 月 1 日 (月)・6 月 29 日 (月) (全 5 回)

昼の部は赤本 (正信偈草四句目下念佛讚三)、日常法務、夜の部は正像末和讚の繰読みです。日程は同朋会館のチラシをご覧ください。

○別院書道教室 (東友会)

[毎月第 2、第 4 水曜日 18 時 30 分～20 時]

講師 木原 光威 氏 (新潟県書道協会理事) 月謝 3,500 円 (テキスト代含)

○有志の会庭講 [毎月 13 日]

ご一緒に別院のお庭を整備しませんか? 毎月 13 日 10 時から、午後は定例法話を聴聞します。1 月と 8 月は休会です。



▼三条別院有志の会庭講からの活動報告

12月13日（土）、12月としては天候も良く気温も穏やかで過ごしやすい作業日和の日でした。今回は11月に引き続き樹木の冬廻いと落ち葉掃きを中心に行い、雪が降る前に今年の作業を完了することができました。作業後には別院で取れた銀杏を使った銀杏ご飯とみそ汁、お漬物をいただき、和やかに今年の庭講活動を締めくくりました。来年は1月がお休みで、2月に年間活動計画を話し合う会議を行います。

（松浦）



○有志の会花講

花講は別院の立花を、有志の会は別院行事に併せた奉仕活動や季節ごとの懇親会を行っております。

○別院奉仕研修について

【奉仕研修冥加金】

1人あたり半日（午前または午後）500円、1日1,000円

1泊2日は上記の冥加金に順じて半日500円で計算する。

【その他実費でいただくもの】

- ①講師謝礼 列座によるお内仏のお給仕・法話は研修冥加金に含まれる。
- ②シーツ等クリーニング代1,000円
- ③食事代 ご要望等ございましたらご相談承ります。

○団体参拝及び諸殿拝観について

列座が諸殿拝観などを行います。日程等お気軽にご相談ください。

○フードバンクを継続募集中

12月の別院フードドライブは匿名含め多くの方々にご協力いただき御礼申し上げます。次回引き取り予定日は1月26日（月）です。

▼御煤払い奉仕団【報告】

2025年12月14日（日）9:00～12:00まで、御煤払い奉仕研修が行われ、約30名の皆さんにご参加いただきました。

まず輪番による御本尊・宗祖真向御影の御煤払いの儀を執り行い、その後参加者全員で塵の積もった高い箇所を中心に、本堂と旧御堂の清掃を行いました。清掃終了後は、本来は立ち入れない内陣に入っていたので特別諸殿拝観を行い、最後に綺麗になった本堂にて皆でお勤めをし、閉会となりました。皆様、ご参加ありがとうございました。

（松浦）

編集後記

今回の「別院に想う」は本山御正忌報恩講の参衆加勢にて一緒にした京都教区近江第26組徳乗寺の比叡谷紗誓氏にご執筆いただきました。普段ご自坊の坊守だけでなく、ご住職と2人で大津別院を管理し、またさらに京都教区准堂会の副会長などご多忙な生活をされている中でのご寄稿に感謝を申し上げます。

この1月号が皆様のお手元に届くのは年末頃かと思われます。世間では「今年も終わった」と言われている時期だと思われますが、別院での生活が中心になっている私自身は、どうも世間よりも1ヶ月早くその感覚を持つようになっているようで、自坊・法中寺院・別院・本山と各所で報恩講に関わらせていただく中で、あらためて「真宗寺院の1年は報恩講に始まり報恩講に終わる」というサイクルが自分の中に染み付いてきているのだなと実感してきています。とはいえ、別院でも年末年始の行事として除夜の鐘と修正会が残っています。終わっているということは、その時から始まっているということを、またあらためて思うしだいです。

（松浦）